



音質を徹底追求した細かな配慮が
随所に確認できる意欲的なモデル

ADL GT40 USB DAC

¥41,790

USB入力
最大サンプリング周波数/bit数
● 96kHz/24bit

profile

国内のオーディオメーカーとして広く知られるフルテック。同社が展開する、エントリークラスのオーディオ機器を中心としたブランドADLの第一弾となるモデルが本機だ。本格的な外部電源の採用や上級モデル用オペアンプ、高音質コンデンサーを採用。MM/MC対応のフォノイコライザーを内蔵した点も見逃せない。

Specification

●型式:USB&アナログ入出力対応オーディオインターフェース ●接続方式:USB(B端子)、アナログ入出力RCAピンジャック1系統(アナログ入力はスライドスイッチによりMC-MM-LINEの3入力に切り替え可能) ●サンプリング周波数:96kHz/24bit(MAX/オーディオアプリケーションソフトに依存) ●周波数特性:20Hz~20kHz(40Hz:+0.5dB/15kHz:-0.5dB) ●S/N:-90dB(A-wtd) ●ライン出力レベル:1Vrms ●ライン入力レベル:MC 0.5mV/MM 5mV/LINE 1V ●電源:外部ACアダプターによる給電9V 0.5A ●サイズ:150W×57H×111Dmm ●質量:約785g(本体) ●取り扱い:フルテック(株)



元気がよくリズムミカルでストレートな音色傾向を持つ

2010年の発売以来、ロングセラーを続けているのがフルテックADLブランドの「GT40 USB DAC」だ。こちらの製品、USB DACとしては96kHz/24bitまでの対応と、いままとなつてはごく一般的なスペックに留まるが、ヘッドフォンアンプに加え、ユニークなことにMM/MC両対応のアナログ入力端子を搭載。手軽にアナログレコーダのデジタルデータ化が行えるようになってきている。こういった独自性が、今日のロングセラーに繋がっているようだ。ちなみに、2012年には192kHz/24bit対応の上位モデル「ESPRIT」が発売されている。

それでは、実際のサウンドを確認してみよう。ハイレゾ音源、C

Dリッピング音源を取り混ぜて数曲聴いた結論としては、元気のいいリズムミカルなサウンド、といったイメージ。バスドラやスネアは立ち上がりが良く、キレも良好なため、グルーブ感の高いサウンドを楽しませてくれる。音色傾向はストレートなイメージで、表現もけっこう細やか。そのおかげか、ピアノの響きはかなりしっとりとした、落ち着いた音色を奏でている。しかしながら、コストパフォーマンスモデルならではの傾向といえる。S/N感が確保し切れていない様子も垣間見られ、曲調によってはそれがわずかながら荒々しいと感じられる傾向もあった。基本的なサウンドクオリティは良質なレベルが確保されているので、ちょっとした気遣いでかなりのグレードアップが果たせそう。積極的にセッティングを行いたくなるモデルだ。